

福島工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	非言語コミュニケーション	
科目基礎情報							
科目番号	0142		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	松江 俊一						
到達目標							
①非言語コミュニケーションの基礎的な理論を理解する。 ②心理学の基礎を理解し、円滑な人間関係を図る能力を身につけることができる。 ③個人と組織の関係についての知識を習得する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B)							
教育方法等							
概要	非言語コミュニケーションについての基礎的な理論を理解し、それを現実に応用できる力を養う。 この科目は、企業経験のある教員が事例をもとにコミュニケーションの課題を具体的な事例を交えて授業を行う。						
授業の進め方・方法	講義及び番組の視聴を中心に授業を進める。						
注意点	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることを心がけること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	非言語の世界 1		主な非言語チャネルとその機能 1		
		2週	非言語の世界 2		主な非言語チャネルとその機能 2		
		3週	自己表現技法 1		プレゼンテーションの目的 win-winの心理学的視点		
		4週	自己表現技法 2		アサーション、ダブルバインド		
		5週	自己実現 1		態度変容、デシジョンメーカー		
		6週	自己実現 2		印象形成 対人認知における歪みと個人差		
		7週	自己実現 3		帰属におけるエラーとバイアス		
		8週	自尊感情		社会的比較理論 セルフディスクレパンシー理論		
	2ndQ	9週	援助行動		傍観者効果、責任の分散 多数の無知、評価懸念		
		10週	態度と感情		説得的コミュニケーション		
		11週	対人行動		自己開示、援助行動、攻撃		
		12週	集団と個人		集団ダイナミクス、ジレンマ、集団間差別		
		13週	マスメディアの影響 1		複合影響説、議題設定効果、培養効果		
		14週	マスメディアの影響 2		沈黙の螺旋、第三者効果		
		15週	世論と流言		合意性過大視効果		
		16週	前期学習したことの総括		前期期末試験解答用紙の返却と解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0